

まちの話題

TOWN TOPICS

〈大多鬼丸旗ソフトボール大会〉 三神スポーツ少年団、3連覇達成！

8月18日、19日、25日にわたり田村市滝根町で開催された「第27回あぶくま湖大多鬼丸旗争奪児童ソフトボール大会」で、三神スポーツ少年団が見事優勝。第25回大会以来、3連覇を達成しました。

8月31日には、町役場で優勝報告会が行われ、三神スポーツ少年団の関根幸佑キャプテンをはじめ、選手の皆さんが大会の感想や喜びを語ってくれました。

子ども達の努力、指導者・保護者の皆さんのご苦労により勝ちとった栄冠、おめでとうございます。



〈全国の舞台に響いた美しい歌声〉 「トロワ・リール」が優秀賞受賞

8月24日～26日の3日間、東京の文京シビックホール大ホールで開催された「第35回全日本お母さんコーラス全国大会」に、棚倉町・矢吹町のコーラスメンバーを中心として結成された「トロワ・リール」（遠藤秀子代表）が出場。見事、優秀賞にあたる「ひまわり賞」を受賞しました。



《矢吹町メンバー》 敬称略

- ・赤井美佳子（滝八幡） ・有我 利（小松）
- ・遠藤 秀子（善郷内） ・遠藤 初江（東郷）
- ・菅家 恵子（東郷）

〈東北七県珠算競技大会〉 儀藤梨乃さんが読上算2位！

8月3日、宮城県で開催された「第40回東北七県珠算競技大会」の第3部（中学生の部）読上算競技で、矢吹中学校1年生の儀藤梨乃さんが2位に輝きました。

8月22日には、儀藤さんと、矢吹珠算学院で儀藤さんを指導している菊地美枝さんが町役場を訪れ、入賞報告会が行われました。「中学生として初めて参加し、少し緊張しましたが、来年は優勝目指してがんばりたいです。」と語ってくれた儀藤さん、このたびの入賞おめでとうございます。



〈長寿のお祝い〉 野崎町長が 高齢者宅を慰問

敬老の日を前に、野崎吉郎町長が8月23日、24日、27日の3日間の日程で、高齢者宅を慰問しました。

町内の高齢者男女別上位10名と、（9月15日までに）90歳を迎える高齢者宅を訪ね、町から祝い金と祝い品を贈り、長寿を祝いました。

このうち、当町で最高齢101歳の安藤悱蔵さんは、お元気そうな姿で、にこやかに対応していました。



放射線量低減化のために
「三十三観音史跡公園」
環境整備

9月9日、第二区長会及び地域支援者による「三十三観音史跡公園」の環境整備活動が行われました。
この活動は、遊歩道探索者へ配慮し、遊歩道沿いの放射線量低減化を図るために実施されたものです。
強い日差しが照りつける中、参加者18名により、公園の遊歩道や町道脇、駐車場等の草刈による除草活動をはじめ、歩道の清掃活動等が実施されました。



町内事業所等の交流を深める
職場職域ソフトボール
大会実施

9月2日、矢吹球場と大池球場を会場に、「第34回職場職域ソフトボール大会」(矢吹町商工会、矢吹町主催)が開催されました。
今年の参加者は、町内事業所等14チーム、230名。2ブロックに分かれて試合が行われ、雨により一部抽選になったものの、スポーツを通して参加者の健康増進及び交流を深める機会となりました。
〈優勝チーム〉
Aブロック 矢吹病院チーム
Bブロック 平成工業チーム



矢吹町のふるさと自慢
ヨネスケさんが来町

NHKBSプレミアムで放送されている「きらり!えん旅」の収録のため、9月7日から9日の3日間、落語家のヨネスケさんが矢吹町を訪れました。
町民の皆さんの案内により、ふるさと自慢を訪ね歩いたヨネスケさん。この番組は10月に放送される予定ですので、ぜひご覧ください。

《番組放送予定》
10月11日(木)
午後7時30分〜7時59分
NHK BSプレミアム



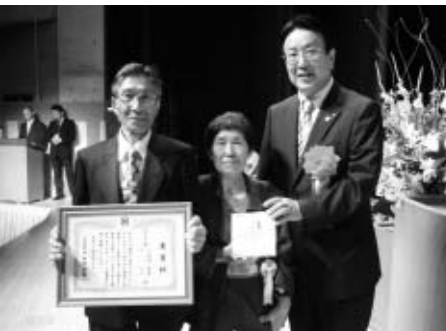
心肺蘇生・応急手当を学ぶ
救急の日記念事業

「第19回救急の日記念事業」(会田病院主催)が9月12日、町文化センターで開催され、140名が参加しました。
この事業は、救急業務や救急医療に対して広く理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図る目的で、9月9日の「救急の日」(9月9日〜15日は救急医療週間)にあわせ実施されています。
救急医療にちなんだポスター・書道・標語を町内の小中学生から募集し、計54点の優秀作品が表彰されました。
今年、県立医科大学医学部救急医療学講座の助教、長谷川有史先生による「原動力災害医療の現場から」と題した講演が行われ、また、「一日救急隊員」委嘱状交付式、矢吹消防署救急隊と会田病院看護部による心肺蘇生法実技や応急手当などの指導があり、参加者は緊急時の対応方法を熱心に学んでいました。



長寿おめでとつございます
「敬老会」盛大に開催

平成24年度敬老会が、9月8日に町文化センター大ホールで開催されました。
今年招待されたのは、75歳以上の方で2336名。会場では80歳、85歳、88歳そして90歳以上の553名へ祝品贈呈や11組のダイヤモンド婚、15組の金婚の皆さんへの表彰が行われました。



ダイヤモンド婚、おめでとうございます
(代表：浅川能貞さん、トミさん)



敬老会のために準備した曲目を演奏する矢吹小学校吹奏楽部の皆さん



案内役などのボランティアをする矢吹中学校の生徒さん

日頃の思いを自らの声で
「第5回矢吹町少年の主張大会」

町青少年健全育成推進会議主催の「第5回矢吹町少年の主張大会」が8月25日、町文化センター小ホールで開催され、参加者は日頃の思いをはつらつと発表しました。
この大会は、青少年たちが日頃から考え感じていることを自分の目でとらえ訴えることにより、自らも社会を構築する一員であると同覚することを目的に開催されているものです。

《大会結果・敬称略》

最優秀賞	菅野 理利 (3年)
優秀賞	菅家 嘉季 (2年)
佳作	木村 桜子 (2年)
	椎谷 優希 (3年)
	大槻 夏菜 (3年)
	木下ひなの (2年)
	水野谷萌人 (1年)
	柏村 美帆 (1年)
	矢部 智裕 (1年)
	関根 優香 (1年)



やぶき里山短歌会

累代のうからの築きし富も里も汚染に棄つる民の怒りぞ
高村 輝雄
解体をやうやく終へたと歌の友多忙の訳をぼつりと話す
高田 優子
わが町の線量知らずスピーカの
アナウンスひびけば夕餉の時間
谷口 修作
震災に傷みし壁を補修する左官の手元に春の日の差す
松川千鶴子
大地震に湯脈の絶えてといひながら女将はわが家の草むしりする
水戸 米子